

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
内科学		必修 (理.作) 選択 (福)	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
竹川 正純	C301	masazumi.takekawa		メールにて対応	
授業の目的・概要	内科的な診察・診断・治療が分かるような基本的知識を習得し、主要な疾病・病態に対しての理解を深め実際の臨床に対して対応できるような能力を身につけてもらう おもに循環器、呼吸器、消化器、代謝疾患を中心に診察、診断、治療法を学習してもらう 新型コロナウイルス感染予防のため、teams による同時双方向の遠隔講義を中心とした授業を行う				
学習上の助言	まず必要な基本的知識を中心に学習し、高度なことはそのあとで良いと思う				
教科書	メデイカルスタッフのための内科学 伊藤進等 医学出版				
参考書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 医学書院				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	主な内科疾患の病態について理解し、説明することが出来る		HSU(1)~(6)		
②	主な内科疾患の症状及び診断について理解し、説明することが出来る		HSU(1)~(6)		
③	主な内科疾患の治療について理解し、説明することが出来る		HSU(1)~(6)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	臨床医学総論 (1) : 内科疾患の診断法、主な症状、検査法、治療について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P1~14 の内容の予習・復習	4	
2	医学総論 (2) : 前回の続き	同時双方向型授業	教科書 P15~20 の内容の予習・復習	4	
3	感染症、アレルギーについて学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P21~42 の内容の予習・復習	4	
4	自己免疫疾患、膠原病について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P43~62 の内容の予習・復習	4	
5	循環器疾患 (1) : 虚血性心疾患、心不全、不整脈について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P63~74 の内容の予習・復習	4	
6	循環器疾患 (2) : 不整脈、高血圧、動脈疾患について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P75~106 の内容の予習・復習	4	
7	呼吸器疾患 (1) : COPD (慢性閉塞性肺疾患) 気管支喘息等について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P107~124 の内容の予習・復習	4	
8	呼吸器疾患 (2) : 肺癌、肺線維症等について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P125~138 の内容の予習・復習	4	
9	消化器疾患 (1) : 消化器疾患の症状・診断法、消化器疾患等について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P139~156 の内容の予習・復習	4	
10	消化器疾患 (2) : 肝疾患、胆道疾患、膵臓疾患等について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P157~180 の内容の予習・復習	4	
11	内分泌疾患 : 視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患等について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P181~202 の内容の予習・復習	4	
12	代謝疾患 : 糖尿病、脂質異常、痛風、メタボリックシンドローム等について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P203~225 の内容の予習・復習	4	
13	血液疾患 (1) : 血液の働き、貧血等について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P227~240 の内容の予習・復習	4	
14	血液疾患 (2) : 白血病等について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P241~256 の内容の予習・復習	4	
15	腎・泌尿器疾患 : 腎不全、腎炎、糖尿病性腎症、腎腫瘍等について学ぶ	同時双方向型授業	教科書 P257~273 の内容の予習・復習	4	
試	筆記試験 (期末テスト)				

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	50	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	10	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義の内容を理解して身につけているか期末テストにて評価する 試験の注意点については講義内で説明する 50%の評価とする				試験の添削・返却等、必要に応じて対応する
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①		授業についてのレポートの提出をしてもらう 実施方法と注意点については講義内で説明する 内容を検討して評価する 50% の評価とする				レポートの添削・返却等、必要に応じて対応する
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業についてのレポートの提出をもらい、その確認を 20% の評価とする				
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>教員の実務経験：内科医として40年の臨床経験</p> <p>実践的授業の内容：実臨床に必要な疾患の病状の理解をもらい、身につくようにして国家試験をクリアしてもらう</p> <p>感染症予防のため、Teams を使って同時双方向型遠隔授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推薦する また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって再度シラバスが変更される可能性がある</p>							